



在京古高同窓会会報
第72号
http://在京古高同窓会.com
〒350-0214
坂戸市千代田 3-21-3-903
在京古高同窓会事務局
阿部 眞
☎・FAX (049) 227-6547
kawagoemiyagi
@outlook.jp
編集長：亀井 明
印刷：(株)ケーヨー

「多感の遊子は去り行きぬ」 そして在京同窓会に集いましょう

会長 伊藤 健二



在京古高同窓会の会長として、同窓会への参画を呼び掛けていますが、かく言う私も恥ずかしながら六十歳までは、まともな貢献をしておりませんでした。

現役で周りが見えにくい時期にはとても遠い存在でしたが、いざ参画してみると、同窓会の本来の目的である「会員相互の親睦・交流、母校の支援」というお題目だけでなく、人との出会いに感謝しています。ビジネスや地域コミュニティという同じ目的に集う人間関係ではなく、たつた一つの共通項「古川高校を卒業」だけで、集まれる稀有な存在です。年代を越えて、在学中に互いに言葉を交わさなくても、打ち解けられます。手始めに、下段にある、旧古川市内四校新年会、そして来年6月22日の総会にお出でいただくのを待ちしています。当たり前ですが、母校の出身者には多種多様な人材がいて、いろんな論理が背景にあることを実感できます。

バルミューダ 寺尾玄氏を訪問
同社の扇風機のグリーンファンやトイスターをご存じでしょうか。心地よい風があり、普通の食パンでも

風味が立ち上がり、愛用しています。スタイリッシュな家電は、価格帯が高くて、支持を受けています。

2018年に仕事で訪問したことがあります。氏の持論では、「お金」など、崇めるように「お」をつけるべきではない。「お金」は目的ではなく幸せのための道具なのだから、「カネ」でいいのだ。そういう方ですから、「カネ」を扱う組織の人間の訪問は歓迎されるはずもなく、冒頭はやむを得ず会っているという雰囲気でした。氏の起業前はロック歌手だったのですが、容易には近寄りたがったものでした。型通りの挨拶を終え、私から著書の「行こう、どこにもなかった方法」(2017年刊、新潮社)を読んで感銘を受けて、お会いしたかったと伝えてからは、「そんな人は今までの訪問でいなかった」と、氷が解けるように話が進みました。

以前から、組織として創業支援に取り組んでおり、氏はロックバンドでプロを目指し、その後独学で金属加工を学び、グリーンファンを作るまでの過程が著書にはドラマのようなワクワクする仕立てになっています。その筆力だけでなく、創業支援のヒントになるものがあるのではという興味があり、営業は脇に置いての訪問でした。

本来の目的を飛び越えて、氏に創業支援セミナーの基調講演や、新卒社員への研修講師をお願いしました。忙しい合間を縫って快諾していただきました。高校生ビジネスプラングランプリの特別講演も引き受けていただきました。同グランプリは5百校、5千を超えるプランの参加となっており、総理からもビデオメッセージをいただけるものとなつて

一在京同窓会メモー
・会計年度は4月-翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
・次回会報第73号は2024年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

います。

5千の中から選ばれたファイナリスト10組の最終プレゼンの際に講演をしていただき、参加高校生との質疑応答の際に、女性から「起業をする意志があり、高校生のうちに準備すべきことは？」との質問に、「その答えには、真剣に恋をして失敗しない。ビジネスのこととしても大真面目にそう思う。だって事業とは、お客さんと思うことから始まるんだから」。

得意即ちの力だけでなく、本質をつく能力に驚きました。同じ組織、モノカルチャー、同じ人脈では得られない経験でした。同窓会は明示的になにかを求めるものではありませんが、いろんな方に出会う、いい機会です。

図南の行方

冒頭の見出しは校歌の次に愛唱する図南歌の一節です。図南の意味は今まで調べたこともなかったのですが、遠征を試みることも、大きく転じては大事業を企てることだそうです。多感の遊子(家を離れて他郷にある人)は、南にそして関東に出て、それぞれ分野で活躍しています。在京同窓会はそのネットワークの一翼を担っていききたいと思っています。

仙台二高出身の友人がおり、先日、東京での同窓会の規模をお聞きすると今年も2百人を超える規模とのことと、驚きました。在京古高同窓会が発足した1980年代以上のものが、それに及ぶべくもありませんが、図南の士が、そして共学後の女性も集えるように、皆さんで工夫してまいります。お力添えをお願いいたします。

第28回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」4年ぶりに開催!!

1. 開催日時

令和6年1月27日(土曜日)11時~15時(受付開始:10時15分)

- 11時00分~11時40分 代表挨拶等
- 11時45分~12時40分 ゴスペルの上演
- 12時55分~15時00分 懇親会

2. 場所

KKRホテル東京 10階「瑞宝の間」

東京都千代田区大手町 1-4-1

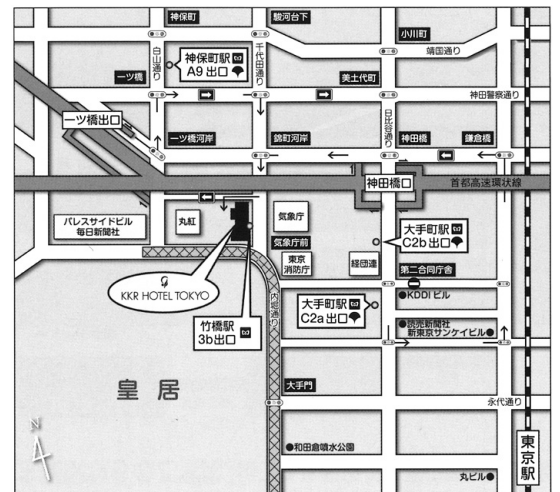
電話 03-3287-2921

※以前の開催場所でした「上野精養軒」ではありませんのでご注意ください。

「ゴスペル」とは

ゴスペル音楽とは、アメリカ発祥の音楽のジャンルで、元来はキリスト教プロテスタント系の宗教音楽。ゴスペルは英語で福音および福音書の意味で、キリスト教の教義や信仰を歌詞に取り入れたもので、アカペラ、ワークソング、ブルース、黒人霊歌などの様式的起源を持ち、黒人霊歌とジャズが融合して生まれた宗教音楽とされます。

「新年の集い」においては、古川高等学校の卒業生を含む約30名によって編成され、東京・銀座を拠点として活動しているゴスペル・グループ「ミルキウェイ・クワイア」によるゴスペルが上演されます。



近況の報告

古川高等学校長 牛来 拓二



在京古高同窓会の皆様には、日頃より母校の教育活動に対して深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、6月の在京同窓会総会、8月の同窓会総会の折には皆さんにお目にかかることができ大変楽しい時間を過ごすことができました。併せて御礼申し上げます。

前会報では、県総体における運動部の活躍についてお伝えしましたが、10月には文芸部の作品が全国入賞を果たしました。例年、文芸部からは東北大会や全国大会へ県代表を送り出してありますが、継続的な活動が実を結んでおります。さて、先日のことですが、公益社団法人宮城県観光連盟の事務局長が来校され、令和6年に台湾の学校と交流することの依頼がありました。台北市立大安高級工業職業学校という、生徒数は約3,500名という大きな学校ですが、日本への教育旅行の際は必ず現地高校との交流が義務づけられているとのこと、古高への優先的な打診がありました。本校も次年度は12月に台湾への修学旅行を計画しておりますので、渡りに船といった格好です。令和6年の5月からオンライン交流を行い、7月には台湾の高校生が来校予定です。交流のテーマはSDG'sということで、それらを通して生徒の様々な能力を向上させる機会であると捉えており

来る3月には同窓会のサポート基金を活用させていただき、外国人留学生とのグローバルスタディプログラムを実施予定ですが、生徒が繰り返し英語での討論やコミュニケーションを経験することにより、グローバルな視点を得るとともに、身近な活動についても振り返ってその意義を感じる契機となるものと期待しております。私自身は平成27、28年度に貞山高、29、30年度は古川黎明高、令和になり仙台二高、仙台大志高で教頭、校長として勤務してきました。これらの学校の経験から感じたことは、今の生徒にとって、入学した学校を唯一の学ぶ場所とは必ずしもとらえていないということです。30数年ほど前は、どの公立高校も定員を満たしており、生徒たちから高校入試を突破したという達成感と、学習等での粘り強さも感じることができました。現在は、中学浪人はほぼなく、受験なしに入学できる広域通信制という選択肢もあります。高校生ならば当たり前に持っている帰属意識は、この10年で大きく変化しました。これも私自身の経験ですが、大学時代（東北大理学部生物学科）は植物生態学講座に属し、毎週のように金華山に通っていたことがあります。雨の降る中、ヒルに血を吸われながらも、漠然と何かをつかむことができるのではと、調査区を作り植生の調査をしていました。課題点を粘りながら明確にしていく経験が、教員になってからも理科の教科指導や学校づくりや、部活動指導などでの心の支えになったと思っています。古高は猛勉強や部活動で達成感を得られるような生徒も多くありますが、生徒自身が将来の社会貢献への見通しを持つことのできるような学習活

動も、これからの学校にはますます求められてくるものと考えます。将来の貴重な人材となる子供たちをいかにしてたくましく育てるのか、枠にとらわれずに考えなければならぬ時勢であると思います。地域に開かれ、社会や地域を支える人材を輩出するという古高の魅力を一層高めるためにも、皆様には、多方面からのご助言を賜りますようお願いいたします。



近況報告

事務局長 遠藤 直樹



在京同窓会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年のは大崎は全国の異常気象と同様に9月下旬まで夏日があり、季節感をあまり感じることのない秋となりました。鳴子峡の紅葉も例年より2週間以上遅れ、見頃の時期もあっという間に過ぎ去ってしまいました。さて、本年度の同窓会総会は8月5日（土）に開催され、約130名を超えるOB・OGの方々にご参会いただきました。今回の記念講演は高28回生で前バイオニア株式会社代表取締役社長執行役員森谷浩一様から「私の履歴書」人生、山あり谷ありそして今は」と題し講演いただきました。バイオニア入社試

験でのエピソードから始まり入社後に身を粉にして働いていた様子、更に経営状態が芳しくない状況で社長を引き継いだ時の苦労話、また経営状況を黒字化した後に社長を退任するまでとまさに題名にあるとおり森谷様のこれまでの人生そのものをリアルに語っていただきました。そして一昨年は直前で実施できなかった懇親会を開催しましたが、中頃に参会いただいたソプラノ歌手で海外でも活躍されている青木麻菜美さん（平24・高64回）に急遽歌声を披露していただきました。久しぶりの対面での宴会ということもあり大変盛り上がったままお開きとなりました。本年の同窓会総会は8月10日（土）に大崎市古川のグラウンド平成にて開催予定です。是非ご参加くださいますようお願いいたします。夏以降の本校の様子ですが、昨年度は会長と応援団長ともに女子という古川高校に新たな歴史が刻まれましたが今年度の生徒会役員選挙では会長、副会長ともに男子が担うことになりました。部活動に目を向けてみれば北海道インターハイに山岳部が出場する予定でしたが直前のアクシデントで棄権するという結果になりました。現地で補員を追加し参加することも選択肢の一つでありましたが、選手自身で準備が十分でないと危険であるという結論に達し苦渋の選択となりました。これも古高生らしい立派な選択ではなかったかと個人的には考えております。新人戦では陸上部が東北大会で3種目入賞し、来年のインターハイ出場へ期待が膨らみます。ひとつありがたいご報告をさせていただきます。静岡在住で昭和35年高12回生の高橋文郎様から古川高校に役立ててくださいという事で1000万円の寄付がありました。

Advertisement for Fortec Motor Sports Oil. Includes text: 'エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。FORTEC モータースポーツオイル発売元 耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。代表取締役 渋谷 誠一 (昭和42年卒) フォルテック株式会社 〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台 4-5-23 TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687 http://www.fortec-oil.com/' and an image of a Fortec Racing Hyper SAE 10w-60 Racing Grade oil can.

職員からアイデアを募集し検討を重ねて参りましたが、教室と体育館をLED化する方向で進んでおります。令和6年度に整備完了するよう進める予定ですが完成後には改めて報告させていただきます。最後になりますが本校の役員を長年にわたって務めていただきました前副会長 菊地厚太郎様と前幹事 青沼順市様が昨年度に逝去されました。この場をお借りしまして在京同窓会の皆様へのご報告と永く同窓会へ尽力いただいたことへの感謝とともに哀悼の意を表します。また、1月27日の旧市内四校新年会が盛会に開催されますよう祈念するとともに、これからも本部同窓会への変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。



総会後は、昨年は南極観測隊の佐藤先生の講演でしたが、今年は趣向を変え、落語家による高座という形となりました。桂伸衛門師匠を迎え、演目は「竹の水仙」で、落語そのものが初めてという参加者も少なくなく、参加者全員が漸に深く聞き入りました。懇親会は、立食ではなく着席形式で行われ、年配の方に対しても負担のない形でした。

総会は6月24日(土)に、昨年同様、御徒町に近い、総合宴会場オーラムで開催されました。参加者は58名で昨年とほぼ同様の人数でした。S47年卒松木秀一さんが議長に選任され、審議が進みました。1号議案、5号議案について、滞りなく審議され、原案通り議決されました。

総会報告

〈第1号議案〉令和4年度活動報告 令和4年4月1日～令和5年3月31日

Table with 3 columns: 年月日, 活動内容, 場所. Lists activities from May 8th to March 25th, including accounting supervision, general meetings, and dinners.

◎定例役員会の開催
第1回役員会 令和4年 5月21日 定時総会の開催の件ほか。
第2回役員会 令和4年10月 1日 「四校新年の集い」の開催の件ほか。
第3回役員会 令和4年12月17日 会則の改正案及び会報の在り方等の検討ほか。
第4回役員会 令和5年 3月25日 会則の改正案及び会報の在り方等の検討ほか。

〈第3号議案〉令和5年度活動計画案 令和5年4月1日～令和6年3月31日

Table with 3 columns: 年月日, 活動内容, 場所. Lists activities from May 7th to March 23rd, including accounting supervision, general meetings, and dinners.

◎定例役員会の開催予定
第1回役員会 令和5年 5月20日 定時総会の開催の件ほか。
第2回役員会 令和5年10月 7日 「新年の集い」の開催の件ほか。
第3回役員会 令和5年12月16日 「新年の集い」の開催の件、古高卒業式の件ほか。
第4回役員会 令和6年 3月23日 定時総会の開催の件ほか。

〈第2号議案〉令和4年度 決算報告及び〈第4号議案〉令和5年度 予算案

Table for Income (収入の部) comparing 令和4年度 and 令和5年度. Columns include 科目, 決算額, 予算額, 増減額, 備考.

Table for Expenses (支出の部) comparing 令和4年度 and 令和5年度. Columns include 科目, 決算額, 予算額, 増減額, 備考.

〈第5号議案〉在京古高同窓会会則の一部改正案承認の件

在京古高同窓会会則の一部を改正することとしたいので、承認願います。
1 改正理由
「在京古高同窓会会則」は昭和63年10月15日に制定され、その後数回に渡って一部改正がなされてきたところであり、約700名の会員を擁する本会をより効率的、かつ、円滑に運営していくためには、新たな役割を設けるなど、組織体制の強化が強く望まれている状況にあります。

書面による決議をもって総会に代えることができることとする(第5条関係)。
4 通常会員としての資格要件については、「旧制古川中学校・古川高等学校(以下「母校」という)の卒業生及び在学したことがある者で関東及びそれ以外に勤務若しくは居住している者、並びに本会の目的に賛同する者。」に規定されているところ、これを改め、「母校(旧制古川中学校を含む。以下この条において同じ)の卒業生及び母校に在学したことがある者並びに本会の目的に賛同する者。」とすること(第6条関係)。

会則の詳細は同窓会HPをご参照ください。

会員による自由投稿

夢

平24卒 青木 麻菜美

授業中、突然感じた激しい揺れ。昔ながらの鎖にぶら下がった蛍光灯は次々と壊れ落ちた。古高で3年になる前の3月11日のことだった。

暫くして学校が再開し、教員がこう言った。「これまでテストで良い点数を取れと口うるさく言ってきた。でも、私の生き方が間違っていたのかもしれない」。

大震災は人生観を変えた。3年の夏、古川駅でオペラ歌手の歌声に足を止め（左の写真参照）、ただ涙が止まらなかった。初めて聞いたマイクも通さない温かい歌声に、何か寄り添うようなものを感じ、音楽は単なる娯楽ではないと思えた。そのオペラ歌手に憧れ、当たり前は簡単に崩れる、後悔しない、今日を生きよう、と音楽の道へ飛び込んだ。夢への第一歩だった。

大学4

年の夏、教育実習のために古高へ戻った。正直、教員になる気はなかった。実習最終日、お世話になったY先生が卒業後の進路はと聞いた。歌の勉強は続けたいが、日本から出たい、と心の内を打ち明けた。すると、Y先生の知り合いのオペラ歌手Tさんを紹介してくれた。その方のお陰で、アメリカを拠点にすることを決め、NYへ渡った。夢への大きな一歩も古高から後押ししてもらった。

2019年、やっとの思いで米国就労ビザを手にした矢先、コロナウイルスが流行った。演奏機会は皆無になり、日本へ帰国、思いがけなくも教員になり、練習を続け、地道な毎日を通じた。2022年、イタリアで事件が起きた。友人のためにオペラの名曲『私の愛しいお父様』を披露した時のこと。イタリア人にも関わらず、誰もその曲を知らなかった。オペラも近い将来、消滅してしまうという大きな危機と衝撃を肌で感じた。そして、夢が生まれた。オペラをより親しみやすいものにして新しい層を歌劇場に呼び込めるようなエンターテインメントを作りたいと思った。そもそも私はオペラファンではない。勉強はしたが、自由時間に観たり聞いたりするほど好きではなかった。そんな私だからこそ、『オペラはつまらない』



という人の気持ち分かる。多くの物語は数世紀前に書かれ、原語は外国語が主流、客席と演者の距離は遠く、チケットは高価、という親しみづらい芸術である。でも、オペラの音楽には真の魅力があり、それ故長い間上演されてきたと感じる。そんな思いから、オペラの名曲に現代的なアレンジを加え、共感できるコメディイを、日本語で、臨場感溢れる会場で、リーズナブルなチケットで、という親しみやすい音楽劇『Opera Is Boring』オペラはつまらない』を書いた。初の試みに心躍り、新しい情熱を見つけた。古高大先輩方を初め沢山の人の賛同・ご協力を頂戴し、9月1日、初演を仙台で無事開催することができた。制作・プロデュース・出演という三足の草鞋を履き走り回り、大変学び多き経験となった。身に余る感想、感謝を込めて。



2023年9月12日

ソプラノ歌手 青木 麻菜美 平成24年卒
尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科で
声楽を専攻し首席で卒業。2016年にニュ
ーヨークに渡り、「魔笛」にてオペラデビュー
。活動は主に米国、イタリア、東北地方



ゴスペルで癒される今
昭56卒 菅原 祐二

昨年3月定年を迎え雇用延長で働き始めました。私はバルブメーカーで営業↓マーケティング↓営業企画を経て昨年、新設の営業部門に15年ぶりで復帰致しました。初年度数字をクリアし、今年も大きな計画を設定し（され？）モガイテおります。古高在学中は中学から始めたバ

スケルトボール部に在籍しておりました。バスケットを始めたきっかけは兄、姉2人がバスケットをしていたこと。週れば昭和3年生まれで192センチの長身で全日本代表選手だった叔父から大きく影響を受けました。古高時代は仲間と監督（鹿野一義氏）に恵まれ3回戦で準優勝の関東高校に敗れましたがインターハイに出場したことが記念となっており、鹿野監督は昨年他界されました。この場をお借りしてご冥福をお祈りいたします。

子供が二人おりますが、長男が野球を選択したので少年野球を経験からイチ。娘はミニバスを始め「よし」と思いバスケット具一式揃えこーちもやる気満々の



- ①四日市工(88-65)七尾 七尾は四日市のスタミナ、スピード、パワーに敗れた
- ②京北(119-64)郡山北工 郡山のエース、⑤橋本のスピードあるカットイン
- ③岐阜農林(93-86)相模工大附 2回戦の好カードだったが、岐阜農に一日の長があった
- ④関東(98-80)古川 古川のセンター⑦菅原のジャンプシュート。21得点した



横浜ららばーと



恵比寿ガーデンプレイス



新宿文化センター

中、二ヶ月も経たないうちにヤマタイ。楽器をやりタイという流れになり寂しい気持ちになったのを思い出します。娘とも時間を共有したいと思ひ、音楽の趣味を探していました。子供繋がりて三家族の交流があり時々カラオケに行く中でオヤジ仲間

はハモリを楽しんでいて、ある時ネット検索した際にゴスペルがヒット！「ハモれるし、楽しそう」と思ひ体験に行き五十の手習いがスタート。始めたばかりの頃は、カラオケの延長の感覚でしたが、続ける過程でイベントに参加する機会が訪れ、渋谷ライヴハウス・恵比寿ガーデンプレイスのライヴに参加などイベントに取組む気持ち芽生えたと、楽しみのギアが上がりました。ゴスペルは黒人が教会でお揃いのローブを着て歌うイメージや、映画「天使にラブソングを」で修道女が歌うシーンを思い浮かべる方が多いかと思ひます。ゴスペル (Gospel) は godspel の「good」「良」と「spel」伝えると「意味で良い知らせ (ニュース)」ということだそうです。「gospel」はイエス・キリストによってもたら

された、人類の救いと、神の国に関する喜ばしい知らせのようです。私が約十一年間ゴスペルを継続してこられたのは純粹に音楽を楽しめたこと、同じ趣味をもつ仲間と仕事と全く違うコミュニティで楽しみ、一緒に作品を作る感覚が心地よかったのだと感じます。
また、大きな効果は元気になれていること。ゴスペルを始めたばかりの頃より今の方が若返ったと感じます。歌いながらクラップ・ステップを踏むことで脳トレにもなり、後付けで知りましたが、歌うことは循環器系認知機能向上・ストレスを軽減するホルモン (オキシトシン) レベルを上げ、ストレスホルモン (コルチゾール) レベルを下げる作用があります。ミルクィウェイ・クワイア (グループ名) を五年前6人でスタートさせ、現在は三十人になり音の厚みも出てきました。二十五〜七十歳のメンバーみんな元気で自ら楽しみ、周りを楽しませる感覚を持っていきます。イベント参加も増えましたが、音楽を通じてゴスペル以外のイベントにも参加するようにもなりました。東京オリンピック前に新国立競技場のイベントでドリカム・嵐のライブ後にゆずと「栄光の架橋」を一緒にピッチ内で歌い、コロナで中止にはなりましたが、ニューヨーク国連で国連合唱団と一緒に歌う企画に参加の予定も

ありました。色んな繋がりて機会を頂き音楽の力には驚きます。度々仲間食事もしますが、私は百二十歳までゴスペルを歌うと語っています。仲間と一緒に楽しみエネルギーが湧き、生きる力になっていると実感します。仲間には岩出山の実家の神棚部屋をゴスペルルームとして、日本の神・西洋の神の融合を語ると、みんな興味津々です。東北に縁を持つ仲間もあり、仙台ゴスペル祭に参加との話も出ています。大崎でも盛り上げられる機会も妄想している次第です。これからもイベントで我々の波動を届けながら自らを癒し、見ている人を癒したいと願います。ありがとうございます。(合掌)

コンサートマスターとしての国際舞台
昭57卒 赤間英一

最近の日経の社説で、大リーグの大谷君を始めとする若い世代の海外での活躍について、昔では考えられない現象で、もっとそういう若い世代を支えて行くという趣旨の社説がありました。その大谷君を引き合に出すのは恐れ多いのですが、私の一人娘 (赤間美沙子) も分野は全く違いますが、大谷君とほぼ同い年で、かつ海外のプロの世界で仕事をしている若い世代の一人です。そのプロの分野とはクラシック音楽の分野で、1年間の試用期間後の2022年9月から、ベルギー国立管弦楽団のコンサート・マスター (コンマスと呼ばれおり、指揮者のすぐ真横に座ってヴァイオリンを弾いていて、指揮者とオーケストラを繋いでオーケストラを纏める役割のポジション) に就任しています。
日本とは違い、クラシック音楽は西洋の文化の中心に位置していることから、演奏会もほぼ毎週末に本拠地のブリュッセルで開かれ、時にベルギー国王を招いての御前演奏を行ったり、またヨーロッパ各地に演奏旅行に行ったりもしています。就任当初はまだ29歳で、(厳しい実技試験を経て採用されたと言っても) そのような楽団のコンマスという大役が小娘 (しかも東洋人!) に務まるかなと非常に心配でしたが、正式就任から1年以上が過ぎた今では、指揮者や楽団員からの信頼もだいぶ得て、かなり慣れて来た様子であり、親としては漸くほっとした心境になったところです (実は、娘とは週に2、3回はLINE通話で無料で (一) 話をしております。自分が若いころ国際電話で四苦八苦した頃とは隔世の感があります)。
こうやって指揮者や楽団員から信頼を得て来たのには、演奏技術を認められることが大前提にはなりません。コンマスには、著名な国際コンクール受賞者が

なったりして(娘は残念ながらその例ではありませんが)、演奏技術面では、他のヴァイオリン奏者より頭一つ以上突き出ていることが期待されているようです。更には、オーケストラを代表して指揮者と楽譜解釈についてすり合わせをする役割も求められており、その意味では、指揮者とオーケストラを繋ぐ役割を担っています(ちなみに、娘は3歳過ぎからヴァイオリンに触れ始めたものの、英才教育的な練習は全くしてこなかったのですが、最終的にはパリ国立高等音楽院(コンセルヴァトワール)で良い先生に出会い、高い演奏技術を身につけることが出来たのだと思います)。

ただ、演奏技術だけでは務まらないのが、どうもコンマスのように、時々娘から相談があるのは、楽団の人事問題や人間関係、また運営上の問題など、いわば組織で管理職として働く者が普通に直面するマネジメント問題なのです。話によれば、このような問題がある程度こなせば、演奏会後に著名ヴァイオリニストヒラリー・ハーンと共に



ないと、最終的には楽団員ときくしゃくしてしまい、オーケストラがまとまらなくなるらしいのです(娘の前任者はフランス人だったのですが、どうもそのようなことが嫌で辞めたらしいです)。まだ経験の浅いしかも東洋人である娘には非常に荷が重いなと最初は非常に心配しているのと相談に乗ってはいませんが、現在はかなり無難にこなしているような感じになっています(50歳過ぎのベテラン楽団員からは、「君はディプロマティックだね」との(お褒めの?)言葉が最近では言われているようです)。

まさか、プロの音楽の世界で演奏技術以外の能力が求められるようとはあまり想像していませんでしたが、ここで役だったのは、娘が幼稚園の頃に(私の転勤により)2年間ほど米国で暮らした経験があり、外国文化(含む、外国人)に接することに慣れていたために、外国語の習得にも抵抗がなかったこと(ちなみに、オーケストラでの使用言語は仏語か英語のどちらかのようにです)、それと、物の考え方や思考力の基礎となる基本知識や教養を日本の学校できちんと学んだからではないかと思っ

ています。実は、娘はプロを最初から目指してはいなかったもので、中学受験をして普通の中高一貫女子校に入って勉強をしたのが良かったのだと思っ

ます。演奏家を目指す子供たちの中には、勉強そっこのだけで楽器の練習に没頭する子供もいますが、そのような子供たちが大人になって非常に伸び悩んでいる例を残念ながら多く見かけています。何にでも幅広い教養が必要ということも良く言われますが、幅広い教養またそれに裏付けられた見識は、外国人とのコミュニケーションにはまさに必要で、それが異なる文化圏で育った者たちの間の相互理解を助けるものと思いますし、またそのような教養と見識は、日本の学校での勉強で十分に身につくものであると確信しています(やや脱線しますが、今の世の中、英語がもてはやされていますが、英語を母語とするのならいざ知らず(その場合、英米人には逆立ちしてもかなわないと思います)、外国語の前に必要なのは母語に基づく言語能力であって、高度な言語である日本語を通じて言語能力を身につければ、外国語は文法と単語さえ覚えることで、高度なコミュニケーションも可能になることは、娘の例からも明らかだと思っ

ています)。

ヴァイオリンから少し外れた展開になってしまいましたが、娘の経験を通じてこれまで感じていたことなどを書かせて頂きました。娘は日本ではほとんど無名ですが、ヨーロッパでは、著名な演奏家(例えば、ピアノ

ストのエリック・ル・サージュとかバイオリニストの樫本大進)とも演奏の機会を持つことが出来ており、また、ゲストコンサート・マスターとしてボルドー交響楽団などで演奏をしております。そういう次第で、日本の演奏機会はまだ作れていませんが、なんとかそのような機会を実現すべく、非力ながらも親として頑張って行きたいと思っておりますので、是非、若い世代の国際舞台での活躍という意味でも、皆様のご声援を頂ければ幸いです。

生涯スポーツ・ハンドボール
昭48卒 加藤 敏朗

昨年、満69歳古希になった。運動量が多く激しい体のぶつかり合いがあるハンドボールが生涯スポーツになっていくことに私自身とても驚いている。

ハンドボールとの出会いは古高入学、そして入部である。当時古高はインターハイ県予選が常に3位以上の強豪校、2年・3年生とレギュラーで県優勝インターハイ出場を狙ったがともに3位、しかし3年生では2年連続優勝の古川工業を準々決勝12対4で破り優勝した仙台育英が「明日の決勝は古高だな」と直接声をかけてきた。古高は練習時間が他校より短い、その分は頭を使って勝つと顧問の鴛田

先生、先輩から厳しく指導され強くなった。夏・春休み、インターハイ県予選前の合宿、合宿所の湿った柔道部のお古の畳、合宿所から教室に通う、食中毒防止で今は飲んではいけないキノホルムを飲んでいただけなど合宿の思い出も懐かしい。

大学に進学しハンドボール以外のスポーツと想っていたが新入生勧誘でちよつと覗いたハンドボール部、「古高強いね、入らなくていいから練習に参加してみよ」練習に行ったら、そのまま入部。東京理科大学これがまた古高と違い弱く、入学後の春の関東リーグ戦に1年生から登録メンバーとして出場し、その後はレギュラーとして出場し、3年生のリーグ戦で活躍した。3年生の時、部員投票で主将に選ばれた。このチームを強くするために尽力した。主将として練習方法を強かった古高の練習に変えることもあった。関東リーグで、いつも最下位の部から5部になることができた。

人生とは面白いもので就職難の時代に野村総合研究所に入社できたが体育会運動部で主将として強くするために何をすべきかを考え実行したことが採用のプラスになったと後で聞いた。その後は大学のOBチームで東京都のクラブリーグでハンドボールを続けたが27歳での結婚を機会に30代はハンドボールから遠ざかっていた。45歳を過ぎ



るころに大学のOB先輩からハンドボールのシニアの大会に強く誘われ参加したのが生涯スポーツ・ハンドボールに繋がっている。全日本マスターズハンドボール大会を中心に東京都や横浜市のマスターズ大会で活動している。全日本の大会は年1回開催地は色々な場所になる。豊田市、宮崎市、大阪市、花巻市など、昨年が藤沢市、今年は盛岡市開催である。いつも旅行気分。前日は観光・宴会をチームメンバーで楽しみ当日はハンドボールを楽しむ。順位決定型と交流型があるがもちろん交流型、

全員70代のチームもある。何歳になってもシニートを決めれば嬉しい、気持ちが良い。シニートがゴールキーパーにはじかれたり、外せば悔しい。交流型は年代別で対戦チームを組むので年寄りチームは両チームが開始前に集まり「ケガのないように楽しみましょう」と声を掛け合い始める。生涯スポーツ・ハンドボール、結局のところ私はつくづくハンドボールが好きなんだと思う。シニアは、そんな仲間が集まりである。最後に古高ハンドボール部に栄あれ。

会員通信

● 尺八、陶芸、そば打の趣味に生き甲斐を感じ、生活しています。(S29年卒/湯本良師)

● 2023年3月急逝。生前のご厚情に感謝します(ご息様より)(S29年卒/小野賢次)

● 人生100年時代といえども、80歳半ばが過ぎて足腰の衰えを実感している昨今です。果して、同期生、又知人達何人と会えるか? お誘いの声を掛ける事なく、単独で参加させて頂きます。(S30年卒/門脇喜代志)

● 人生の終盤ですが、定年延長26年目に突入しております。(S30年卒/曾根研一)

● 今は6月、左の尿管と腎臓摘出から3年半、体のあちこちに異常を感じますが、合唱とテニスと囲碁と、プレイ中は忘れられるので実行しています。仲間と会える同窓会が楽しみです。(S30年卒/高橋廣)

● 米寿(かぞえ年)となりましたが、わずかながら会費、賛助金を送れることにほんの小さな満足をおぼえています。(S30年卒/手島篤郎)

● 平成30年8月夏祭準備中急病で一週間入院し、以来一週間に一回リハビリ教室に通い健康維持につとめております。(S30年卒/渡辺吉郎)

● 頑張っております。しかし寄る年波には勝てず弱気になっております。(S31年卒/相澤昭男)

● 4月に84才になり、自動車の免

許証は返納しました。今の所、まずまず元気に暮らしていますが、これからも、のんびり暮らしたいと願っています。(S33年卒/大山隆志)

● いつも会報送付いただきありがとうございます。ごいいます。「蜚雪」の生徒の進路の記事で、毎回面白くなく思っております。なぜか国立大学が私立大学より上にあるような扱

いがある印象があります。どの分野に進もうと、本人が満足する人生を送るかどうかは、個人の力量で、決まると思っています。古高の進路は私立大学へ進む学生数が多く、私の同期で、私立大学へ進んで、良かったと思っっている人は多くいます。(S33年卒/寺澤壮一郎)

● 小生83才、妻80才共に元気に人生を楽しんでいます。(S33年卒/結城睦夫)

● 鳴子、岩出山、古川を久し振りに見ましたが、全くさびれてかなくなりませんでした。再生への奇策はないのでしょうか?(S35年卒/黒岩弘一)

● 週3回、各4時間、透析のため欠席させていただきます。同窓会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝をお祈り致しています。(S35年卒/我妻一美)

● 同窓会名簿(2021年版)をながめているといろいろな発見があります。第一回生に鈴木文治がいます。彼の先輩(7年)の吉野作造は仙台一中に進学しています。本校はまだなかったのですね。(S36年卒/大益弘)

TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用ブーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用ブーストチョークコイル

TMP株式会社
 代表取締役 佐藤勉(昭和42年卒)
 神奈川県大和市大和南2-1-16 大和ホワイトビル7F
 TEL 046-260-6788 FAX 046-260-1624

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー

BIP株式会社 Business Integration Partners
 取締役会長 佐々木 昭美
 昭和42年卒

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F
 TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418
 東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F
 TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp

プロ野球の観戦(ライオンズ)と古城めぐりを趣味としています。(S37年卒/相澤利重)

●80才にならんとしている今、野球関係に籍を置き頑張つて来ましたが、試合中に半月板を痛め除去手術をし、筋肉も衰え走ることも出来ず、今年で卒業予定。先輩江崎さん逝去さびしいです。(S37年卒/穴戸照男)

●返事遅れまして申し訳有りません。近況だけ通信します。趣味の菊作り&小学校への指導そして千曲市のアグリサポーターとしてリソゴ園の農業支援活動中です。(S37年卒/渋谷孝)

●蛍雪の自由投稿は在京古高同窓会会員の御活躍が良く分かり、楽しめました。投稿された方々の益々の御活躍を祈念致します。私は生まれ故郷岩出山に帰郷し3年になります、大崎市民病院・岩出山分院での診療を通じて地域医療に生涯現役として寄与したいと願っております。(2023年7月逝去S38年卒/阿部重人)

●7月7日に同期の阿部重人君が急逝したと岩出山支部から連絡を貰いました。福島病院勤務時は四校新年会に出席していた友でした。3年前地元元の医療に尽くしたいと大崎市民病院岩出山分院へ戻り、毎回会員通信欄へ患者さんとの診療の身近な会話を寄稿して貰っていた一人でした。また一人親しい友を亡くしました。(S38年卒/佐々木恭次)

●11月銀座うえすとで80才記念展が企画されております。東京で活動し50年、60年、何が聴こえ、見

えるか楽しみです。よろしく。(S38年卒/宮本信夫)

●いつもありがとうございます。イタリア民謡のテノールとして年24回ステージに立っています。あとは老人の味方として小さい家直しをしています。(S39年卒/上野正司)

●社会保険労務士としての日々が、健康と生き甲斐の源となっております。(S39年卒/後藤雅正)

●楽しい一時を！二次会は同期会で何人集まるかなあ？前回は4人。(S41年卒/菊地務)

●バドミントンは週2回、筋トレは毎日やっています。(S41年卒/高橋秀之)

●郷里で郷土史などの勉強しながら自然豊かな環境でのんびり暮らしております。(S42年卒/大友文博)

●昨年、弊塾は36年を無事に迎えられるしました。「蛍雪」に感謝。(S42年卒/森谷里美)

●地元で自治会長を務めて9年目になります。世代間ギャップを感じており、そろそろ引退かなと考えております。(S42年卒/門田芳司)

●コロナが収束しつつありますが、今後も感染症に気をつけましょう。皆様の御活躍をお祈りします。(S44年卒/相澤次雄)

●昨年度から庶務担当幹事を仰せつかっておりますが、事務局としてやるべきことの多さに驚いています。役員会の設定、総会・懇親会や四校による「新年の集い」の企画・立案、会場側との調整、会則の改正、会報の発送などなど。改めて前事務局長のご苦勞に感謝する次第です。(S44年卒/山中政法)

●まだまだ農学教育、農学研究につき進んでいます。(S46年卒/今川和彦)

●旧友4名、昨年度鳴子にて同窓会。懐かしさや盛り上がりとともに年齢による健康不安も有り。元気で再会を願っています。(S46年卒/遠藤孝)

●古希をむかえ、車にシルバーマークを貼り、ゆっくりと走っています。(S47年卒/松木秀二)

●2023年は古希の前にして中学、高校の同窓会が開かれ、久しぶりに会えます。(S48年卒/伊藤健二)

●5月27・28日に神奈川県藤沢市で行われる全日本ハンドボールマスターズ大会に68歳で参加。昨年もシニウトを決め、今年も決める意気込み。(S48年卒/加藤敏朗)

●昨年7月、65歳にて(株)紀伊国屋書店を定年退職。現在、マンション管理会社(ホームライフ管理(株))にて、マンション管理人の仕事をしております。(S51年卒/細川源治)

●亡父一周忌のため、残念ながら欠席致します。定期総会懇親会の盛会をご祈念致します。S52年卒業生も満65才を迎え、高齢者の仲間入りとなりました。(S52年卒/伏見善一)

●片平さん(古川出身)が御生存のときは同窓会に参加していましたが、今回は久しぶりに参加したく思います。会報をいつも送り頂き感謝しております。これから昭和50年以降のOBを増やして盛り上げていきたいと思えます。よろしくお願ひします。(S53年卒/高橋誠一郎)

●定年を期に東京から岐阜へ引越して「君の名は」の舞台の飛騨古川駅が最寄り駅になりました。高校生時代に利用していた陸前古川駅との縁を感じて移住を決断しました。(S56年卒/松浦正)

●幹事会に参加させて頂き、一年経ち今年還暦を迎えましたが、幹事会で大先輩方にお会いすると、未だ鼻タレ小僧であることに気が付きました。(S57年卒/赤間英一)

●去年、初めて総会に出席しました。古高伝統の校歌斉唱で出席者全員が一体となり、終始和やかな雰囲気の中、有意義な時を過ごしました。出席した事がない方は是非一度、総会にお越しください。(S59年卒/高橋克嘉)

●今回より進行の関係で原稿の締切等のタイミングが前倒しになりましたが、関係の皆様のご協力により、予定通り発行することができました。ご協力ありがとうございました。

●2020年より続いた新型コロナウイルス感染症も落ち着き、ようやく4校合同の新年会を4年ぶりに開催できる運びとなり、ほっとしているところです。

●自由投稿は、古高の特色でもある音楽関係で活躍されている方、御子弟をメインで取り上げています。ご感想をお聞かせください。(亀井)

編集後記

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階 (虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493 E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

情報処理のエキスパート 高水準コピー | 最新技術導入のDTP

総合複写 総合印刷

信頼と実績のケーヨーにおまかせください!

| 専任スタッフ・有資格者 | |
|------------------|-----|
| CALS/EC インストラクター | 6名 |
| SXF 技術者 | 1名 |
| 電子化ファイリング検定B級 | 4名 |
| 文書情報管理士1級 | 13名 |
| 文書情報管理士2級 | 9名 |

- 諸官公庁完成図書
- デジタルデータ作成支援
- 総合複写 製本・総合印刷
- 電子納品作成支援(CALS)
- ファイリング・写真整理
- 大型コピー・各種製本
- 図書製本・CAD 入出力
- データ変換・入出力
- デジタル印刷・パンフレット
- 写真撮影

株式会社ケーヨー 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6 TEL.03-3242-0191 URL:https://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp